

今号の内容

ページ

- ◆なかしま朝市便 1周年、商店街紹介ほか 2~5
- ◆衆議院議員総選挙、最高裁判官国民審査 6~7
- ◆秋の叙勲、男女共同参画計画案答申 8
- ◆柳川地域の校区公民館を改修ほか 9
- ◆歯科健診のお知らせほか 10
- ◆シチメンソウが紅葉ほか 11
- ◆市民のひろば (12-13) ◆川柳 (13) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き (14-15) ◆情報わいど (16-24) ◆がんばったね (24) ◆もちふみデビュー (24-25) ◆保健ガイド (26-27) ◆新市史抄片 (28)



おいしいノリ 順調に成長

福岡県沖の有明海で、11月中旬から秋芽ノリの初摘みが行われました。7月の水害で有明海へ流れてきた流木などがれきの影響で心配されたノリの養殖も、漁業者らの懸命の除去作業により、無事10月16日に種付けが解禁。11月16日に初摘み作業を行った田中和利さん(中島)は「心配していたがれきも問題なく、いいノリが採れています」と話しました。また、11月18日は小川洋県知事が中島漁港の漁業団地でノリの加工や、干拓からノリひびを視察。案内した県有明海漁連の西田晴征会長は「近年まれにみるおいしいノリができています」と質の良さをアピールしました。

編集後記

盆綱引き

旧三橋町二ツ河校区では、盆(8月15日)に綱引きが行われている。木元(今年は8月6日)ではボンデンナワともいう。長さ20メートルほどの綱をない、この縄を子どもたち(かつては男の子のみ)が持って区内を練り歩く。それからこの綱を堀に浮かべる。その後、綱をお宮まで運んで土俵にして相撲を取る(起田区)。

全国的に綱引きを行う時期は、大きく三つに分かれる。1月15日、盆(旧暦7月15日)および旧暦8月15日である。それ以外に5月の節句に引く所もある。

綱引きの行われる時期を地域別に見てみると、1月15日綱引きは熊本県中部から北の地域に広く認められる。8月15日は「十五夜綱引き」と呼ばれ、熊本県南部から南九州、沖縄にかけて濃密に見られる。十五夜綱引きは月見と一緒に行われる。盆綱引きは関東から九州北部にかけての広い範囲に点々と分布している。ただ、盆綱引きを行っている地域は、前の二つの綱引きと比べると極めて少ない。

盆綱引きは、九州では、福岡が福岡市、筑後市、遠賀郡、築上郡、佐賀県の呼子、名護屋、長崎県の壱岐島八幡などで行われている。

盆綱引きの綱について、三橋では「地獄に落ちた人をこの綱で助け上げる」と言っている。近畿地方では「仏の出立ちを送る」と言い、壱岐では「仏の腰立て」と呼んでいる。このように、盆に綱引きを行う意味についての伝承はさまざまである。

綱引きは年占いの意味を持つことが多い。農業集落であれば、稲作と畑作に分かれて引き合い、勝利した側の作物が豊作になる。海に面した集落なら、農業と漁業に分かれて豊作、豊漁を占う、といった具合である。三橋ではそのような伝承を聞くことができない。

三橋では綱を持ち歩き、最後にお宮に行って土俵の俵にするという点は南九州の綱引きと共通する要素である。三橋の盆綱引きは不幸な先祖を救う目的を持つが、豊凶占いの要素もとどめているように思われる。

市史編集委員 安田宗生



ボンデンナワ (三橋町木元区)

人のうごき

平成24年10月末現在

- 人口 71,091人 (前月比-94)
- 男 33,689人 (-52)
- 女 37,402人 (-42)
- 出生 51人、死亡 105人
- 転入 114人、転出 154人
- 世帯数 24,850世帯 (-20)

●フェイスブックに登録してみた。知人のページを訪問し友達欄を検索。次々と別の知人の名前が出てくる。意外な交友関係に驚くことも。しかし見ているうちに気付いた。自分が見ることができるといふことは、その逆も当然あるということ。いまだに誰とも友達登録していない。

●武術を習っている息子たちが初めて大会に出場した。初出場とあって緊張しているかと思えば、同じ道場に通う子どもたちと一緒に遊んでいる始末。見ていた親の方がよほど緊張していた。試合はすぐに負けしてしまっ、くやしくて泣く姿に目を細めていた。親はかすねえ。(賢治)

●先月結婚式を挙げ、己を包み隠さず生きていくことを誓った。本番前12cmのヒールを履いた嫁に、新郎が格好よく見えるように少しかがむよう指示。だが本番で不自然な嫁の姿勢に気付いた牧師から姿勢を直すよう注意を受け、嫁のドレスに包み隠していたことがみんなにバレてしまった。(和久)